

# 2016年3月13日 主日礼拝 〈3・11 5周年記念礼拝〉

司 会 ①篠遠兄 ②佐々木伸兄 ③浜田兄  
奏 楽  
祈 禱 ①三浦兄 ②石塚兄

## ヤベツの祈り

賛 美 (ふるさと・うさぎ追いかの山)「我ら夢見・み国は」  
(目をあげよ)(心静かに主のみ言葉を待つ)

聖 書 ①② コリント人への第一の手紙1章18～25節 (P257)  
③ ペテロの第二の手紙3章8～13節 (P374)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)  
②③ アブラハム会

証 詞 ① 梶山大兄(高校生)

メッセージ ①② 「十字架は終わったのか(前篇)」 倉知契副牧師  
③ 「その響は全地にあまねく」 大川従道牧師

賛 美 「遠き国や」(聖歌397番)(献金・東日本のため)  
頌 栄 「主の名を賛美しよう」 アーメン  
祝 禱

②③ 3・11セレモニー「花は咲く」・黙禱

「この日、言葉をかの日に伝え、この夜、知識をかの夜におくる。  
語りず言わず、その声聞こえざるに、その響きは全地にあまねく」

(詩篇十九篇・文語訳)

## 【大和ニュース】

- \* 東日本大震災に深い痛みをもって、主の慰めと祝福をお祈り致します。
- ・ 本日、入門講座Ⅱ、手話研究会、ドルカス会、ハンナ会、カレブ・エステル会、SS主任会、J. Plus、YYタイム(森チャペル・12時半)等あり。
- \* 東京カルバリーは、都庁北隣「ハイアットホテル」5時。平安。準祈とSSは東山。  
(5月1日から「21世紀キリスト教会」渋谷区広尾5-9-7。大感謝をもってお祈り下さい。)
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜は久保田伝道師、木曜朝は丸藤伝道師。
- ☆ 小西美津子姉の召天記念会は、木曜祈禱会にて。家族葬は9日になされました。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時。石橋補教師。☆土曜スクールは、9時半・森にて。
- \* 21日(月)の「愛修会」(牧師夫妻の金婚式)800名参加。なるべくバス・電車のご利用を。  
申し込みをされた方の週報ポストに食事サービス券が入っています。当日必要です。

## 石の枕

今日の「石の枕」を書くために、数ヶ月前から試行錯誤しながら、やっと辿（たど）り着いた文である。「石」が強いのか「枕」が深いのかは、読者に任せるが、一般的視点から最善とは思っていただかなくてもよしとするが（そんな文章はどこにもないでしょうが）、牧師の苦しみ抜いた思考からは、「よくやった！」と同情しながら良い点数をくださるとうれしい。

聴く耳のある者は、聴くがよい、の世界である。

林富美子は、その作品『野に咲くペロニカ』で次のように語る。

主は泣く者の涙を吸い取り紙で拭うようなことはなさらなかった。貧乏人のために、一度も社会政策を企てようとはしなかった。イエスは血まぶれな敗残者に対して、汝ら幸福なり、と仰せ給うた。私共は貧しきままに、飢えるままに、全面的に、主イエス御自身を受け入れる時に、幸福になれるのです。

勿論、＜3・11＞を記念して探しぬいたベストワンである。こういう内容を理解できるキリスト者でありたいと願った。まだほど遠い患者である。

著者は、ハンセン病療養所勤務医として、その生涯を捧げるべく、一生独身を貫く決意で29歳まで過ごした。後日、同じくハンセン病治療に専念していた林文雄と結婚するのだが、式の9日後に、沖縄の離島で患者のみが暮らすキリスト者の軽症患者らを訪問する。その時の日記の一部を上述した。

不治の病といわれ、「らい病」と嫌われ、戸籍から名前を抹消された時代のことである。（東日本大震災という想定外の被災された方々を心から痛みをもって受けとめ、あらためて「福音」とは何かを考えながら書いている。）

林富美子の言葉は、私たちに「あなたは現在の自分そのまま救われるのですよ。あなたは、現在のその姿、その身体、その性格、その生活実態のままですすでに幸福なのです。主イエスは、今、あなたに魂の平安を与えて下さっているのですから」と語りかけている。

エルサレムの都会でなく、辺境の地ガリラヤで福音を語られた主の御心境は、人智を超えた暗黒の経験の中でのみ、体験できる光の世界なのかもしれない。否、本当は、聖霊によって、罪の世界が暴かれてのみ、真理の荒野で恵みを得、永遠が開かれるのであろう。主よ！悟らせてまえ！！

東日本の地に、人々の上に、主の慰めと信仰と希望と愛とを祈ります。

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:マルコ14章～ルカ1章 Bコース:申命記20章～34章